様式３（2020.08改）

作成日　令和　4年　11月　7日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000010
事業所名	元町グルーホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。今年もコロナ禍ではあるが、少しづつ地域行事も再開され、入居者の参加は難しいが職員の参加により交流を継続している。今年度は、「RAN伴」の出発式や地域の花火の見物をしたり、長年続いている小学生との交流会には入居者と共に小学校に出向きお互いの願いが込められた七夕の笹飾りを交換し、さらに深い絆となっている。また、地域と「つながり続ける事」を目的とし、「孤立しない社会の創造」を目指し「生きることに」価値を見い出すために伴走型支援にも取り組んでいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	今年度も引き続きコロナ禍により書面開催としている。家族、自治会長、民生委員、地域住民、地域包括支援センター職員には議事録を郵送している。年6回開催の内、1回は家族会と合同で開催してるが、現在は踏み止まっている。事業所の運営状況や活動報告、今後の予定、入居者状況などを報告し、内容について意見を聴収し、頂いた意見はサービスの向上や運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	介護保険更新の手続きや申請書類、運営推進会議録などは郵送し、市の担当者とは電話やメールで情報交換をしたり入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。認知症啓発イベントの「RAN伴」に代表職員が参加し施設で出発式を行っている。地域包括主催「行方不明者捜索訓練」の実施に積極的に協力し、継続的な関係性を築いている。また、認知症キャラバンメイト育成事業の講師として出向いたり、作成した資料の貸し出しも行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、意見や要望を記録し、職員間で共有し運営に反映させている。家族にはHitomeQ（ひとめく）の機能を利用して、介護記録を毎日配信し、質問や相談がある場合は、随時対応している。また、家族からは面会時や電話、メールなどを利用して意見や要望を聞き、ケアや業務の改善に役立てている。「元町ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ笑顔だより」を発行し、家族に安心を届けている。また、いつでも訪問しやすい環境や雰囲気づくりをしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は、今年度も新型コロナウイルスの影響で書面での開催としているが、状況を確認しながら再開の予定をしている。ホームに根付いてきた「多世代カフェ」や家族会との合同の運営推進会議、「RAN伴」などはコロナ禍の状況を見ながら再開をしていく心積もりとしている。面会はマスク着用で玄関先のガラス越し、電話やリモート面会、タブレットや携帯など家族が対応できる方法で実施している。外出自粛が続く中、広い庭さき散歩をしたり、花壇や菜園の手入れをしたりして四季の移ろいを感じながら外気に触れるようにしている。入居者と一緒にレクリエーションや食事作りにアイデアを取り入れたり工夫をして生活のメリハリや楽しみが持てるようにし、職員と共に楽しめる暮らしを大切にしている。コロナ禍においても、ホームと交流会を長年継続している小学生との七夕飾りの交換は、さらに心温まる深い絆となっている。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								